

学校だより

令和元年度（2019年）9月 6日



鳥越小学校 No.7

教育目標

やさしく思いやりにあふれ
自他の健康安全を心がけ
確かに学ぶ子の育成

仲よく
助け合う

よく
考える

最後まで
やりぬく

ふるさとに
ほこりを

全国学力学習状況調査・県基礎学力調査の結果について

【全国学力・学習状況調査】（6年生）

国語科	県平均を上回る	算数科	県平均を上回る
-----	---------	-----	---------

『全国学力学習状況調査・県基礎学力調査』の結果についてお知らせします。この結果を踏まえ、学習指導の改善と充実に活かし、お子さんの『確かな学力の定着』に向けてよりよい指導を続けて参ります。

ご家庭で、お子さんが宿題をしている際には、以下のことも参考に見て頂けると有り難いです。

- ◇ 4年生 県基礎学力調査（国語科・算数科）の答案用紙を持ち帰ります。
- ◇ 6年生 県基礎学力調査（社会科・理科）の答案用紙、全国学力学習状況調査の『個人成績表』、『コピーされた答案用紙』を持ち帰ります。答案用紙は返却されないため、コピーしました。

1 苦手な内容

【4年生】県基礎学力調査

〔国語科〕〔話すこと・書くこと〕

- ・正しい筆順やローマ字で書くこと。
- ・話の中心に気を付けて聞き分からない点や確かめたい点を質問すること。

〔国語科〕〔読むこと〕

- ・中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、読むこと。

〔算数科〕〔数と計算〕

- ・分数の意味と表し方を理解すること。
- ・除法や乗法を根拠とした判断の理由を説明すること。

〔数量関係〕

- ・グラフから読みとった数値を根拠に、正しい理由を説明すること。
- ・棒グラフを正しく読みとること。

【6年生】県基礎学力調査

〔社会科〕〔地域学習〕

- ・資料を基に考察したことを、適切に表現すること。

〔産業と国土〕

- ・複数の資料を適切に関連付けて、学習問題として表現すること。

〔理科〕〔物質・エネルギー〕

- ・電気を通すものと磁石につくものを理解すること。

- ・モーターの回る向きを乾電池のつなぎ方や回路を流れる電流の向きと関連付けて説明すること。
- ・閉じ込めた空気や水を押したときの現象を、それぞれの性質と関連付けて考えること。

【6年生】全国学力学習状況調査

〔国語科〕〔書くこと〕

- ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと。
- 〔言語に関すること〕
- ・文の中で、意味を考えて漢字を使うこと。例：かんしん
- ・ことわざの意味を理解し、自分の表現に用いること。

〔算数科〕〔数と計算〕

- ・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できること。

〔量と測定〕

- ・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できること。

〔数量関係〕

- ・示された除法の式の意味を理解すること。

2 改善に向けて

**目標を立て 計画をつくり
時間をかけてコツコツと勉強しましょう！
自学ノートに取り組みましょう！**

- 〔国語科〕
 - ・漢字の読み書きや筆順の練習等の指導を丁寧に行う。
 - ・目的や意図に応じ、自分の考えの理由を明確にして書くなど、書く力を向上させる。
 - ・ことわざの意味や使い方を、短文づくり等を通して教える。
 - ・読書に親しませる。
- 〔算数科〕
 - ・四則計算などの基礎的基本的な問題、発展問題を用いた補充学習にさらに取り組む。
 - ・テープ図や数直線図等を使って、説明する力を身に付けさせる。
- 〔社会科〕
 - ・資料を見て分かることを読みとる力、資料からどんな変化が分かるかを考える力、それらを言葉で表現する力等を培う授業を工夫する。
 - ・課題をつくる際には、提示の仕方を工夫し、一方の資料からもう一方の資料について推論したり、比較したりして、疑問を持たせることで課題を見つける力を付けていく。
- 〔理科〕
 - ・実験の目標に応じて、分析・考察できる指導を丁寧に行う。
 - ・様々な現象について、その現象が起こるまでにはどのような事実があるのかを遡って見つけ、言語化する力を付けていく。

子ども達の学力向上に向けて『教師の授業力の向上』や『鳥越タイム・鳥越っ子チャレンジタイムなどの補充学習の充実』『家庭学習の工夫（家庭学習の手引き）』『多様な読書』を重点にして取り組んでいます。その中で、家庭学習については『家庭学習時間や内容、進んで取り組むこと』や『自学ノートとその内容』を大切にしています。

6年生国語科〔報告する文章〕

- ・調査の内容と結果の両方から言葉や文を取り上げて書きます。
- ・報告する文章にふさわしい表現で書きます。
- ・40字以上70字以内で書きます。

1

高橋さんの学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することになりました。高橋さんは、公共電話について調べています。次は、高橋さんが書いてある「報告する文章」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

高橋 めぐみ

公共電話について

1 はじめに
先日外出したときに、家に電話をかけようとする店に行くとき、あつたはずの公共電話がなくなっていました。こまがなくなっていました。また、よく行く公園の公共電話も、いつの間にかなくなっていました。わたしたちは、公共電話の数が減っているのではないかと、町の公共電話の数を調べてみることにしました。それをまとめたものが(資料1)です。平成二十年度から二十九年度までの十年間で、約半分まで減っていることが分かりました。そこで、公共電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうのかどうか調べてみることにしました。

2 調査の内容と結果
(1) 公共電話はどのようにならなければならないのか
多くの人がかきたい電話を持つ中で、公共電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。
そこで、地元の三十人ほどを調査の「ア」(資料2)として、公共電話が必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめたものが(資料3)です。「かきたい電話をわすれたときに必要」「かきたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。このことから、公共電話は、主に「かきたい電話を使うことができないときに必要とされている」ということが分かりました。

(2) 公共電話にはどのような使い方ができるのか
公共電話について書かれた資料を調べてみると、公共電話には、次のような使い方がありました。
・警察署(110番)や消防署(119番)には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができるとのこと。
・停電のときでも、硬貨を使って通話することができるとのこと。
・電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。
このように、公共電話は、きん急のときに使うことができるということが分かりました。

(3) 公共電話はどのような場所にあるのか
公共電話を必要とする場所には、どのような場所があるのか、どのような場所には設置されているのかを調べることにしました。わたしたちが調べたところ、公共電話の設置場所をまとめたものが(資料3)です。実際に町を歩いて調べたところ、公共電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。なぜなら、調査の結果から、公共電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうわけではないと考えました。なぜなら、

また、公共電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかと、今度の調査を通して知ったことを、学校の友達にイチャイチャと多くの友達に伝え、公共電話について、わが町を歩いたらいいと思います。

(資料1) 公共電話設置台数の推移

年度	設置台数
平成20年度	300
平成21年度	280
平成22年度	260
平成23年度	240
平成24年度	220
平成25年度	200
平成26年度	180
平成27年度	160
平成28年度	150
平成29年度	140

(資料2) 公共電話が必要な理由のまとめ(複数回答)

かきたい電話をわすれたときに必要	22人
かきたい電話の電池が切れたときに必要	12人
かきたい電話の使用が禁止されているときに必要	5人
かきたい電話の電波がどこかからないときに必要	4人
かきたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人

(資料3) 公共電話の設置場所を示した地図

小図-2

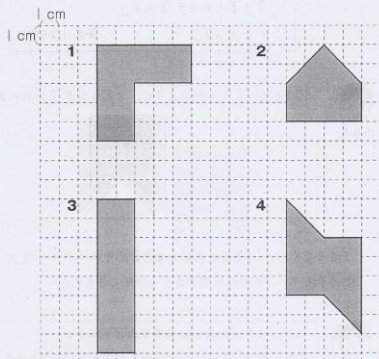
6年生算数科〔図形の構成〕

- ・図形の性質や構成要素に着目して、図形を構成することをします。
- ・2つの合同な図形を、ずらしたり、回したり、裏返したりします。

(2) ちひろさんは、次のように、2つの合同な台形をつくりました。



上の2つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせ、いろいろな形をつくりましょう。
どのような形をつくりましょうか。
下の1から4までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。



6年生社会科〔産業と国土〕

- ・複数の資料を適切に関連付けて、学習問題として表現します。

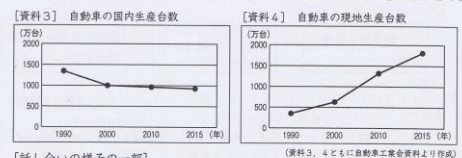
(4) あいさんは、自動車会社が、地球環境にやさしい自動車づくりに取り組み、ハイブリッドカーを生産していることを知りました。資料2をもとに、ハイブリッドカーの持ちょうを書きましょう。

(資料2) ガソリン車とハイブリッドカーの二酸化炭素はい出量

自動車種別	二酸化炭素はい出量
ガソリン車	181g
ハイブリッドカー	97g

(自動車会社資料より作成)

(5) あいさんのクラスでは、日本の自動車工業と世界とのつながりについて調べるために、資料3と資料4をもとに話し合っています。あとの問いに答えましょう。



【話し合いの様子の一部】
先生：自動車の国内生産台数は1990年以降どのように変化していますか。
あい：資料3を見ると、1990年から2000年にかけて、約(C)万台減っています。その後は、2000年から2015年の間は、ほとんど変化はありません。
ゆい：でも、毎年少しずつ減っているよね。売れなくなってしまったのかな。
先生：資料4の「現地生産」というのは、日本の自動車会社が外国に工場をつくって自動車を生産、はん売することです。1990年以降はどのように変化していますか。
けん：1990年と(D)年を比べると、約5.5倍に増えています。
たく：外国で生産すると何かいいことがあるのかな。

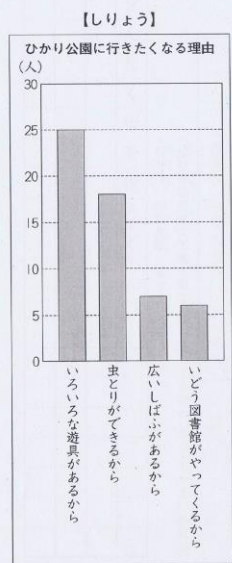
- ① 【話し合いの様子の一部】のCとDにあてはまる数を書きましょう。
- ② あいさんは、資料3と資料4をもとに、学習問題をつくり、予想をノートにまとめました。ノートのEにあてはまる言葉を書きましょう。

【あいさんのノート】
(学習問題) どうして、E だろうか。
(予想) ① 日本の自動車は外国で売れるので、外国の人のニーズに合わせて現地生産するようになったから。
② 自動車を外国で生産すれば、日本から運ぶ必要がなくなるため。

4年生国語科〔話すこと聞くこと〕
 ・なぜ、間をとったのでしょうか。そのわけを書きます。(話し方の工夫)

2 山本さんは、聞いている人のために、「発表台本」の「線」のあとで、間を取りました。なぜ間を取ったのでしょうか。そのわけを「線」のあとで間を取ったのは、聞いている人に「」につづけて書きましょう。

- 1 田中さんのグループでは、「発表台本」をつくる時、分りやすくつづけたために次のカードを使いました。「発表台本」を読んで、田中さんが考えた話の組み立ての順番に合うように、ア～エの記号を書きましょう。
- ア 調べて分かったこと
 - イ 調べようと思ったわけ
 - ウ 発表する話題
 - エ 調べた感想



田中 ぼくたちは、クラスの人がよく行く「ひかり公園」について発表します。

北川 みなさん「ひかり公園」が人気のある場所なのは、なぜだと思いませんか。(問)その理由を知りたいと思っただので、学年のみんなにアンケートをとることにしました。

山本 このしりょうを見てください。(指さす) (問)これは、「ひかり公園」に行きたくなる理由」と答えたら、「ひかり公園」に行きたくなる理由」とたずね、そのけつかをグラフに表したものです。このしりょうから、次のことが分ります。「いろいろな遊具があるから」と答えた人が二十五人、「虫とりができるから」と答えた人が十八人、「広いし遊ぶがあるから」と答えた人が七人、「いどう図書館がやってくるから」と答えた人が六人です。 (指さす)二番目に多い理由だと分ります。他に、(指さす)広いし遊ぶがあることや、いどう図書館がやってくることも、「ひかり公園」に行きたくなる理由です。調べてみると、これまで知らなかった「ひかり公園」の、人気のある理由が分りました。ぼくも、虫が大好きなので、虫とりに「ひかり公園」に行ってみたくです。

これで、発表を終わります。

1 田中さんの学級では、国語の時間に「しりょう」から分かったことを発表しようという学習をしています。田中さんのグループは「発表台本」と「しりょう」を作り、発表しました。あとの問いに答えましょう。

【発表台本】

(話し手) (話す内容と発表のくふう)

(発表のくふう) 間を取る

しりょうを指さす (指さす)

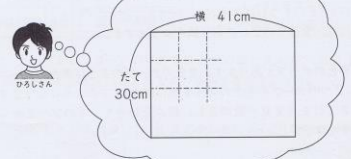
4年生算数科〔数と計算〕
 ・除法、乗法を根拠として、判断の理由を説明します。

3 ひろしさんのクラスでは、1年生をむかえる会でプレゼントする首かざりを作ることになりました。次の問いに答えましょう。

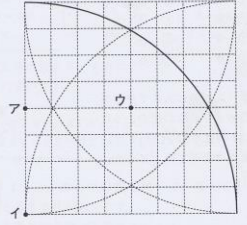
(1) ひろしさんたちは、右のような【首かざり】を作るために、たてが30cm、横が41cmの工作用紙に、1つの辺の長さが8cmの正方形をかくことにしました。

ひろしさんは、「1つの辺の長さが8cmの正方形を、横に6つかくことはできません」と言いました。

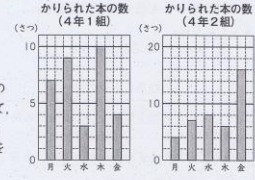
そのわけを言葉や式を使って書きましょう。



(2) ひろしさんたちは、1つの辺の長さが8cmの正方形に下の図のようなまがいをかいて、首かざりを作ります。下の図の線をかくときに、コンパスのはりをどこにさせばよいですか。コンパスのはりをさす場所(・)を、下の図のア～ウから1つえらんで、記号を書きましょう。



8 4年1組のひろしさんと4年2組のこうじさんは、それぞれのクラスの図書係です。ある1週間に、それぞれのクラスで図書館からかりられた本の数を調べ、下のようなぼうグラフにまとめました。次の問いに答えましょう。



(1) かりられた本の数(4年1組)のぼうグラフからわかることについて、正しくないものは、どれですか。下のア～ウから1つえらんで、記号を書きましょう。

- ア 4年1組で図書館からかりられた本の数がいちばん多いのは、水曜日です。
- イ 4年1組で図書館からかりられた本の数の合計は、30さつより少ないです。
- ウ 4年1組で図書館から火曜日にかりられた本の数は、水曜日にかりられた本の数より6さつ多いです。

(2) ひろしさんは、4年1組と4年2組のぼうグラフを見て、次のように言いました。

金曜日のぼうの長さをくらべると、4年2組のぼうの長さは、4年1組のぼうの長さの2倍だけど、金曜日にかりられた本の数でくらべると、4年2組の本の数は、4年1組の本の数の4倍です。

ひろしさんの言った「金曜日にかりられた本の数でくらべると、4年2組の本の数は、4年1組の本の数の4倍です。」は正しいです。そのわけを、2つのぼうグラフから読みとれることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

4年生算数科〔数量関係〕
 ・グラフの読み取りを根拠として、正しい理由を説明します。